

ながさき

日本赤十字社 長崎原爆病院広報誌

VOL.13

2017

ホッと安心
ホットな気持ちで
情報をクロス!

ほっとクロス

H O T C R O S S N A G A S A K I



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



表紙：摂食・嚥下チームのスタッフ
(詳しくはP.8へ)

〈特集〉HOT PRESS | 医療の現場

看護部 私たちは赤十字の使命のもとに、 心のこもった質の高い看護を提供します

HOT COLUMN 医療コラム

新しい成人肺炎診療ガイドライン2017と
COPDにおける医療連携

HOT NEWS

新入職員のご紹介

HOT SERVICE

●病診連携室(地域医療連携課)からのお知らせ
「地域医療連携の会」のご紹介

●地域がん診療連携拠点病院講演会ご案内
●認定看護師コラム ●健康豆知識 ●チーム医療紹介

INFORMATION

ニュース&スケジュール

●ほっとごはん(健康食のススメ) ●上田医師の健康レシピ



■ 特集

看護部の
キュートなマスコット
「くろくま」
です!!

私たちは赤十字の使命のもとに、

心のこもった質の高い 看護を提供します。



当院看護部は、看護師と看護補助者、外来アシスタント等で構成する院内で最も多くの職員を有する部門です。元気はつらつの新人看護師から、経験豊富な看護補助者、子育て真最中のパワフル看護師や何でも頼れるナースマンなど、さまざまな知識と経験を持つ看護職員が「心のこもった質の高い看護」を目指し、多職種と協力しながら活動しています。

毎日約500名の患者さんが受診される外来では、“やさしさ”が声になっている外来を实践するという目標のもと、診療介助や処置、指導などの丁寧な看護と医療連携に努めています。1階の看護相談コーナーでは受診科の相談や体調不良の方の対

応に看護師が活躍しています。

病棟は急性期6病棟、地域包括ケア1病棟、ハイケアユニット(HCU)があります。安心、安全な看護の提供を目的にパートナーシップ・ナーシングシステム(PNS)という看護師がペアでケアを行う方式を導入し、同僚や先輩後輩でコミュニケーションを取りながら、夫々の診療科の特徴に応じた看護を提供しています。また、病棟で欠かせない存在の看護補助者は、患者さんの身の回りのお世話や療養環境の整備を行い、少しでも患者さんに心地よく療養していただけるよう努めています。

手術室では、年間約3000件の手術が行われます。高い専門性が求められる手術看護について、知

識と能力の向上に努め、確実な実践につなげています。

地域の関係職種の方々との医療連携では、在宅療養支援として退院調整看護師や訪問看護師が安心して自宅療養できるような役割を担っています。訪問看護は24時間オンコール体制であり在宅医とも連携を図っています。「家で過ごしたいけど不安が…」と迷っておられる患者さん、ぜひ訪問看護をご検討下さい。全力でサポートいたします！



訪問看護センタースタッフと愛車です！

チーム医療の推進においては、多職種協働により多くの専門チームが活動しています。認定看護師が感染対策、糖尿病、緩和ケアなどすべてのチームに所属し、看護の立場から専門的に関わり、個々の患者さんに応じた医療の提供と職員の育成に力を発揮しています。お困りの点やご相談など看護師に何でもお声かけ下さい。



多職種で行う糖尿病チームカンファランス



新人看護師のサポート方法について先輩看護師も研修中！

専門職として卒後教育に力を入れており全国の赤十字医療施設で共通のキャリア開発ラダーというシステムを活用しています。階段を一段ずつ上がるように知識や経験を積み、実際の場面を通して自身の看護を見つめます。ケアできる喜びを患者さんから教えていただきながら、赤十字看護職員として誇りと自覚を持って取り組んで参ります。



新人看護師の静脈注射研修の様子。真剣です！

いよいよ、来年は 新病院がオープンします!!

新しいそれぞれの部署で、患者さんのところに寄り添い、信頼を得られるような看護を提供できるよう、体制づくりや学習に取り組んでいます。いつまでも地域のみなさまに愛される病院であり続けられますよう精一杯努力していきたいと思います。

新しい成人肺炎診療ガイドライン2017とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)における医療連携



橋口 浩二

日本赤十字社長崎原爆病院呼吸器内科
感染症内科部長

本年5月日本呼吸器学会より新しい成人肺炎診療ガイドライン2017が刊行されました。本ガイドラインの大きな特徴は診療フローチャート(図1)の示すように従来の3つのガイドライン(成人市中肺炎・院内肺炎・医療介護関連肺炎ガイドライン)を一つにまとめ使いやすくなった点にあります。

診療フローチャートとして市中肺炎においては

1

敗血症の有無の判断(表1)

2

重症度の判断で治療の場と治療薬の決定を行うようになったこと。

院内肺炎・医療介護関連肺炎については先ず第一に

1

誤嚥性肺炎のリスクの判断

2

疾患終末期や老衰状態の判断など患者背景のアセスメントを行い治療方針を立てることとなったこと。

特に反復性の誤嚥性肺炎のリスクがあるか疾患終末期であるか老衰が考えられる場合は個人の治療に対する意思やQOLを考慮した治療やケア(場合によっては治療を行わないなど)を第一義的に考えることなども織り込まれたものとなっています。当院における誤嚥性肺炎における診療担当医も呼吸器内科医だけが診るのではなく総合診療の立場として内科医全体で診療に当たっています。その理由は呼吸器内科医師の疲弊や誤嚥性肺炎における専門医・非専門医における30日後の死亡率に差がないことが挙げられます。

1) 呼吸数22回／分以上

2) 意識変容*

3) 収縮期血圧100mmHg以下

*：厳密にはGlasgow Coma Scale (GCS) <15を指す。

■表1 qSOFAスコア

CAT質問票

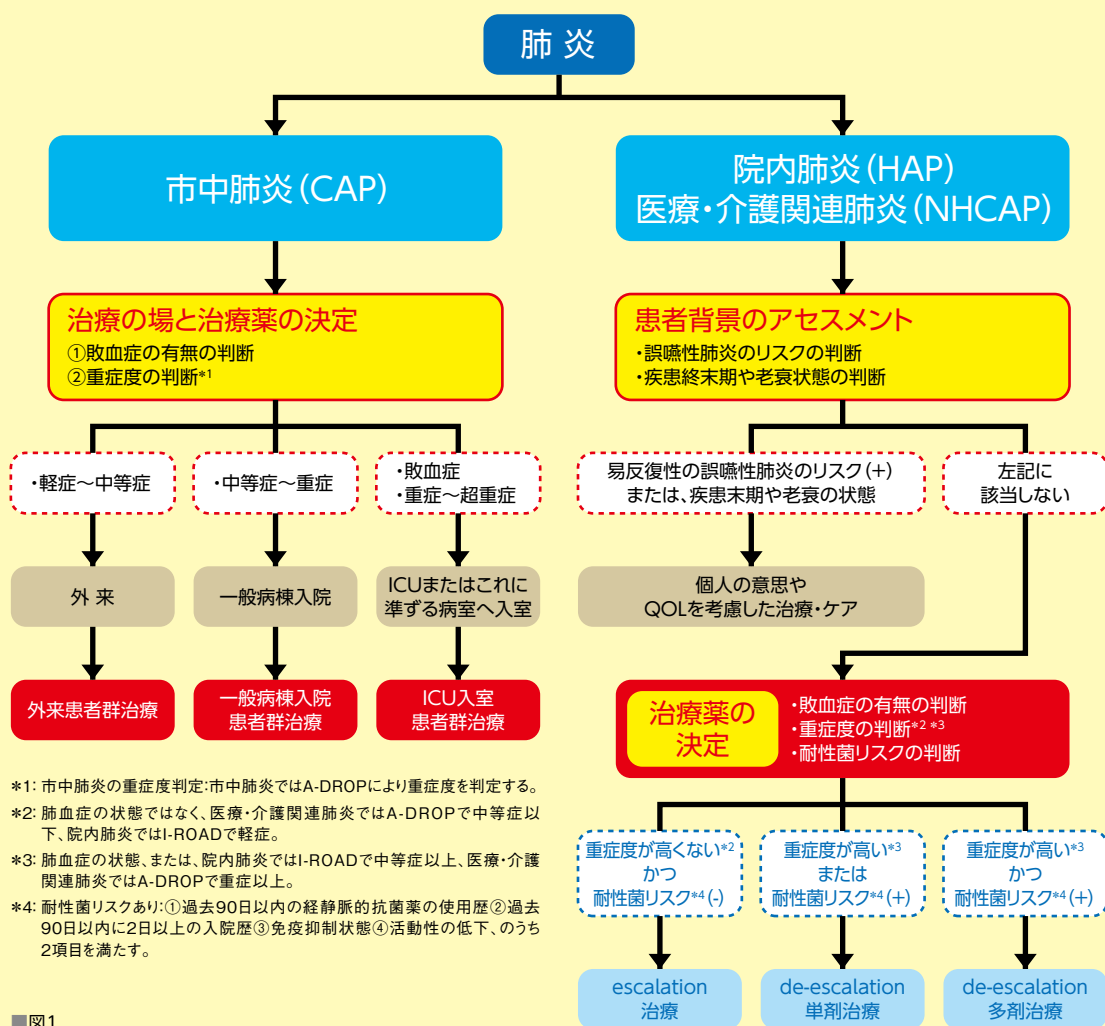
http://www.catestonline.org/english/index_Japan.htm

	点数
まったく咳が出ない 0 1 2 3 4 5 いつも咳が出ている	
まったく痰がつかまった感じがしない 0 1 2 3 4 5 いつも痰がつかまっている感じがする	
まったく息苦しくない 0 1 2 3 4 5 非常に息苦しい	
坂や階段が上がっても息切れがしない 0 1 2 3 4 5 坂や階段が上がると、非常に息切れがする	
家での普段の生活が制限されることはない 0 1 2 3 4 5 家での普段の生活が非常に制限される	
肺の状態を気にせず外出できる 0 1 2 3 4 5 肺の状態が気になって、外出できない	
よく眠れる 0 1 2 3 4 5 肺の状態が気になって、よく眠れない	
とても元気だ 0 1 2 3 4 5 まったく元気がない	

COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第4版

■図2

『成人肺炎診療ガイドライン2017』フローチャート

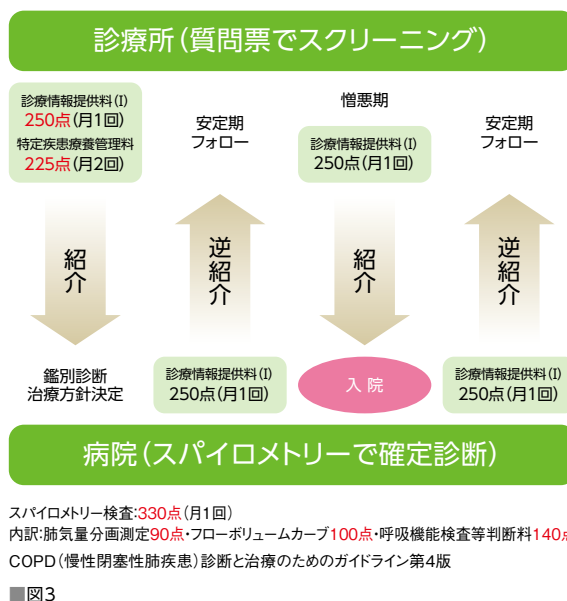


■図1

COPD医療連携

COPD特に肺気腫が疑われる喫煙患者様(既喫煙者含む)が開業医の先生方を受診された際は質問票(図2 CAT)でスクリーニングして頂きCOPDの疑いがある場合(21点以上)は病診連携室を通して当院呼吸器内科新患外来(月・水・金)ご紹介頂きますと当科にて胸部CT画像検査やスパイロメトリー検査で精査を行いCOPDと他疾患の鑑別診断を行い治療方針を決定し先生方へ逆紹介させていただきます。安定期は先生方の医療機関で継続ご加療頂き、急性増悪を生じた際は再度当科へご紹介頂き入院加療の後症状が安定したら再度先生方へ逆紹介させて頂く医療連携となります。因みに先生方から当院への診療情報提供料は月1回250点、安定期の診療において先生方の医療機関では特定疾患療養管理料月2回225点が算定可能となります。(図3)

〈 COPDにおける医療連携 〉





飯岡 隆 | 関節外科部長(整形外科)
いいおか たかし

9年ぶりの原爆病院勤務となります。
専門は人工関節手術です。
安全で満足度の高い診療を目指します。



黒部 彩那 | 医師(眼科)
くろべ あやな

研修医時代に1年間お世話になりましたが、
7月より眼科に赴任いたしました。
患者さんのために精一杯頑張ります。
よろしくお願いいたします。

HOT【ホッと、サービス】SERVICE+

日本赤十字社長崎原爆病院より
講演会のお知らせ

第1回

平成29年度

地域がん診療連携拠点病院講演会

“いのちを看取る”ということ、その心得～ホスピス緩和ケアの心～

開催日時

平成29年 **9月6日(水)** 17:30～18:45

開催場所

別館4階災害救護室

講師

社会医療法人栄光会 栄光病院
理事長 **下稲葉 康之** 先生

申込み・お問い合わせ先

日本赤十字社長崎原爆病院 診療情報課
TEL:095-847-1511(内線:7615)



「地域医療連携の会」 のご紹介

日本赤十字社長崎原爆病院では、地域医療連携の促進と開業医の先生方との親睦を目的として、平成26年12月より『地域医療連携の会』を発足し、これまでに17回開催しております。

内容は、当院の医師やコメディカルが持ち回りで、当院の治療方法やチーム医療の取り組み、当院の地域医療連携に関する取り組みについて講演させていただいております。

また、講演会後は、ご参加いただいた先生方とミニ親睦会も開催しております。

原則、毎月開催を目指しておりますので、開業医の先生方はもちろん、コメディカルの方のご参加も是非お願いいたします。

なお、ご案内につきましては、当院のホームページでも行なっておりますので、ご覧下さい。

《第16回 地域医療連携の会(平成29年5月26日開催)より》……………



木下副院長(神経内科)による講演です。



開業医の先生方の質問に、木下副院長と麻酔科の後藤部長がお答えしました。

《過去の地域医療連携の会》……………

開催日	診療科	医師名	演題
第1回 平成26年12月10日	外科	谷口 英樹	当院の診療体制について
第2回 平成27年 1 月 7 日	神経内科	木下 郁夫	当院の頭痛診療について
第3回 平成27年 2 月17日	消化器内科	鶴田正太郎	C型慢性肝炎の最新治療
第4回 平成27年 3 月26日	耳鼻咽喉科	隈上 秀高	長崎原爆病院での「めまい」診療 一高血圧・高脂血症に伴うめまい一
第5回 平成27年 6 月25日	皮膚科	鳥山 史	当院における皮膚疾患診療一高齢者への対応を中心に一
第6回 平成27年 7 月16日	外科	谷口 英樹	乳がん患者の地域連携
第7回 平成27年 8 月20日	循環器内科	荒木 究	睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患
		雨森健太郎	PADの血管内治療
		苜澤 直人	見逃されている原発性アルドステロン症
第8回 平成28年 3 月10日	外科	畑地登志子	乳癌患者の妊孕性温存を考える
第9回 平成28年 6 月29日	皮膚科	宿輪 哲生	長崎原爆病院 皮膚科診療のご案内
第10回 平成28年 7 月27日	内分泌・代謝科	上田 康雄	食事療法のパラダイムシフト
第11回 平成28年 8 月24日	薬剤部	藤田 靖之	当院の緩和ケアチームについて
第12回 平成28年 9 月16日	—	院外講師	「高齢者の自立を障害する新しい病態一フレイルとサルコペニアについて」
第13回 平成28年10月13日	呼吸器内科	橋口 浩二	新しい肺炎治療ガイドラインとCOPD医療連携
第14回 平成28年12月 1 日	耳鼻咽喉科	隈上 秀高	「アレルギー性鼻炎の新しい治療一舌下免疫療法と手術」
第15回 平成29年 2 月 3 日	—	院外講師	「認知症の病態のケアの基本」他
第16回 平成29年 5 月26日	神経内科	木下 郁夫	最近の症例から見た脳脊髄液減少症の「奥深さ」
第17回 平成29年 6 月28日	麻酔科	後藤 慎一	癌性疼痛が疑われたら 一オピオイドや各種鎮痛薬の使い方について一

【お問い合わせ先】日本赤十字社長崎原爆病院 地域医療連携課

TEL.0120-845-261 095-847-1511(代表)

【がん放射線療法看護認定看護師の病棟における活動について】

骨転移のある患者の 病的骨折予防のための 取り組み



村田 繁

がん放射線療法看護認定看護師

がん患者の多くは骨転移を有しているといわれています。骨転移による疼痛は持続性の疼痛を伴い、ADLやQOLを著しく低下させてしまいます。放射線治療により80~90%の方で疼痛の緩和が得られるとの報告があり、骨転移に対する放射線治療はとても有効な治療法と言えます。痛みが取れることで、歩けなかった患者が歩けるようになるなどADLが拡大しますが、そこに大きな落とし穴があります。骨転移は骨自体が腫瘍細胞に置き換わることで骨折しやすい状態にあります。放射線治療を行う事で腫瘍細胞が消失し、痛みなどの症状が改善しますが、骨が再生するまで数ヶ月要すると言われており、ADLの拡大に対し骨の再生が間に合わないため、病的骨折のリスクを高めることになります。

当院では、昨年度より骨転移に対して放射線治療を行っている患者を対象に、放射線治療医と整形外科医、理学療法士、がん放射線療法看護認定看護

師で病的骨折のリスク評価を行っています。多職種でリスク評価を行う事で、患者個々のリスクに応じたリハビリや日常生活動作指導に役立てることが出来ます。現在、一部の病棟で病的骨折のリスクの高い患者に対し、理学療法士と看護師が多職種カンファレンスを行っています。日常生活動作の注意点や自宅の環境整備について話し合うことで、患者のセルフケア能力に応じた日常生活動作指導など、看護の実践に役立てることができています。

今後、全ての病棟で病的骨折のリスクのある患者に対して、理学療法士との多職種カンファレンスを実施することを目標としています。病的骨折のリスクを抱えたまま退院となる患者に対しては、多職種カンファレンスで話し合われたことをケアマネジャーを通して、地域医療を担う医療従事者に情報共有を行っていきけるよう活動していきたいと考えています。

Vol.13

健康ほっと豆知識

当院では手術を受けられる患者さんがいらっしゃいますが、そのうちの多くの方が手術前後にリハビリを実施しておられます。リハビリをされている方は、人工関節の手術後である方や、がんの腫瘍摘出手術後の方など様々です。

手術による傷の痛みがあるにも関わらず、起き上がったり、歩いたりすることは、苦痛が生じることですよね。

確かに、手術後は損傷を受けた組織が修復されている期間であるため安静が必要です。けれども、1日安静をしていたことによって生じた筋肉の衰えを回復させるためには1週間を要し、1週間の安静ではおおよそ1か月もの時間が必要であるとも言われています。特に入院前に活動量が少ない高齢者の方の場合は、尚更時間を要することもあります。

《リハビリテーション科部》 手術後早期から始める リハビリテーションの大切さ

また手術後は様々な合併症が生じやすい時期でもあります。肺の合併症や血栓の予防は、自身で運動をしていただくことでも予防することが出来ます。足は“第二の心臓”とも言われますが、軽く足首を動かしたり、歩いたりすることは、合併症の予防や身体機能の回復のためにとても効果的です。

私たちリハビリテーションスタッフは、患者さんが必要な時期に適切な運動が実施できるよう、その方に応じた関わりをしていきたいと日々考えています。

患者さんや、そのご家族も、「手術をしたばかりだから、もうしばらく安静にしなければならない」と思われずに、お一人お一人に適した生活の場に一日でも早く復帰されるよう、まずは少しの運動から取り組んでみてはいかがでしょうか。

【摂食・嚥下チームについて】

「口から食べることをあきらめず、
「**食べたい(食べさせたい)**」という
患者さんやご家族、病棟スタッフの想いを支え、
安全に食事が摂取できることを目標に
チームで取り組んでいます。



表紙について 写真は、摂食・嚥下チームのスタッフです。

摂食（せっしょく）・嚥下（えんげ）障害と聞きなれない言葉ですが、摂食・嚥下障害とは、本来私たちが当たり前のように行っている、食べる、飲むといった行為に障害を来した状態を指しています。

人間の「食べる」という行為は単に栄養補給するだけではなく、家族や友人との重要なコミュニケーションツールであり、人生における楽しみでもあります。食べる機能が失われた患者さんはそれらを一気に奪われることになり、その失望を図り知ることはできません。逆にそれらの機能を取り戻した時の喜びはとても大きいものです。

摂食・嚥下障害の問題点としては、「誤嚥・窒息・肺炎などの発生」「脱水・低栄養」「食べる楽しみの喪失」などが挙げられます。

また、食事が取れないことで必要な栄養が取れなくなることは、万病のもととなってしまいます。

摂食・嚥下障害の方へ誤嚥や窒息などを起こさないように、できるだけ「口」から食事が行えるよう、摂食・嚥下チームを2009年に発足しました。現在は神経内科医師、耳鼻科医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、看護師と多職種で活動を行っています。

《摂食・嚥下チームの活動》

1. 病棟スタッフが摂食・嚥下障害者や摂食・嚥下障害のリスクの高い対象者を早期に抽出し、摂食・嚥下チームにて摂食嚥下評価を行っています。
2. 評価をもとにその方に応じた、食事を行うための環境の整備、食事内容、摂食・嚥下訓練方法などを多職種で検討、提案しています。
3. ベッドサイドで病棟看護師、言語聴覚士を中心に食事を行うための「環境」を整え「口」の準備と摂食・嚥下訓練を行っています。
4. 栄養サポートチーム、褥瘡対策チームとも協働しながら、治療とともに早期に「口」からの食事が行え、患者さんの回復に繋がることを目指しております。

長崎原爆病院で開催した行事やイベントをご紹介します。

News		Schedule	
2017. 5	● 2017年5月14日(日) 赤十字ふれあいフェスタ Pick UP + ● 2017年5月23日(火) 長崎市総合防災訓練 接遇研修 ● 2017年5月28日(日) 第27回九州ブロック赤十字病(産)院 職員親善スポーツ大会	2017. 8	● 2017年8月15日(火) 精霊流し
2017. 6	● 2017年6月1日(木) ANAすずらん贈呈 Pick UP + ● 2017年6月3日(土) 長崎県総合防災訓練 ● 2017年6月10日(土)～11日(日) 日本赤十字社長崎県支部 常備救護班要員基礎研修会 ● 2017年6月30日(金) 体験型医療安全研修会	2017. 9	● 2017年9月10日(日) 日赤こころのケア研修会
2017. 7	● 2017年7月11日(火) 体験型医療安全研修会 ● 2017年7月31日(月) サマーコンサート		
2017. 8	● 2017年8月1日(火)～9日(水) 原爆慰問		

Pick UP+プラス

2017年5月14日(日)

「赤十字ふれあいフェスタ」を開催いたしました

5月1日は佐野常民、大給恒が日赤の前身である博愛社を創設した日。5月8日(世界赤十字デー)は赤十字社創設者アンリー・デュナンが生まれた日。日本赤十字社では、こうした意義深い歴史的な日がある5月を「赤十字運動月間」とし、毎年、全国各地でPR活動を行っています。本県は今年、長崎市のベルナード観光通りでPRイベントを開催いたしました。災害救護活動のパネルや心肺蘇生法など救急法・AED体験、血圧や血糖、体脂肪の計測、献血クイズなど各種コーナーに多くの方々が参加され、赤十字活動に触れていただくことができました。



Pick UP+プラス

2017年6月1日(木)

第62回「しあわせの花 すずらん」贈呈式

毎年6月にANAグループ客室乗務員のみなさまが、全国の赤十字施設を訪問し、「しあわせ・幸福の再来」を花言葉にもつすずらんの花をご寄贈くださるこの活動は今年で62回目を迎えました。

6月1日、当院は北海道千歳市近郊に咲いたすずらんの花に加え、ANAグループ社員の手書きメッセージを添えた爽やかなすずらの香りがするしおりを頂きました。

贈呈されたしおりは入院患者様お一人おひとりにお届けしました。





元気な毎日は、美味しく健康的な食事から！
美味しく役に立つ情報をご紹介します！！

減塩食は素材でおいしく！～セロリ編～

セロリは古代から薬用、香辛料とされ、17世紀ごろに食用とされました。日本は、幕末になって栽培が始まったそうです。

セロリには特有の香りがあります。セロリ自体を味わうには浅漬け(写真①)がおすすめです。新鮮な歯ごたえを味わうことができます。加熱料理は香りもよく、味もひきたちます。セロリとイカの炒め物(写真②)は、ごま油を少量加えても美味しく仕上がります。

いろんなセロリ料理で、美味しい減塩食をどうぞ。



上田医師の健康レシピ | Healthy recipe

玄米チャーハン



玄米は二合ほど炊いて、75g程度に小分けして冷凍しています。玄米でなくご飯でも可。玄米の方が食後の血糖上昇は押さえられるでしょう。

材料(1人分)

- ①玄米75g(糖質27g)
- ②タマネギ 1/2個(糖質7g) みじん切り
- ③豚肉 少量 ④ちくわ(糖質1～2g程度) 少量
- ⑤卵(糖質0.1g) 1個
- ⑥塩こしょう、醤油、ごま油 少々
- ⑦オリーブオイル 大さじ1



作り方

- ①タマネギを炒めしんなりしたら豚肉とちくわを加えさらに炒める
- ②卵を溶いて玄米を加え卵ご飯にしておく(卵が多いが)
- ③②を炒めながら①を加え塩こしょう、少量の醤油、ごま油をフライパンに沿って加え、よく混ぜてできあがり。



編集後記



事務部長
立石一弘

事務部長室の窓から見える新病院の建設風景が、着工当時からすると様変わりの様子を呈しています。本館の骨格組み立て部分も最上階である15階まで伸び、来年3月の完成に向け、いよいよ工事が佳境に入ったことを実感しています。これからの建設工事の無事を祈りつつ、完成を心待ちにしたいと思います。

+ 日本赤十字社 長崎原爆病院



【理念】

赤十字の使命のもとに、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供します

【病院の基本方針】

- ① 高度で良質な医療を目指し診療の専門性を高めます
- ② 被爆者の健康管理と診療の充実に努めます
- ③ がん診療の拠点病院として医療の充実に努めます
- ④ 医療連携を促進し、救急医療をはじめ地域医療に取り組みます
- ⑤ 赤十字及び行政と連携して災害時の医療救護活動を行います
- ⑥ 教育実習病院として医療従事者の教育に努めます

【患者さんの権利】

- ① 個人の尊厳が尊重される権利があります
- ② 良質な医療を公平に受ける権利があります
- ③ 診療・治療に関する説明を受ける権利があります
- ④ 診療・治療行為を選択し決定する権利があります
- ⑤ 個人情報がまもられる権利があります

ほっとクロス

HOT CROSS NAGASAKI

“ほっとクロス”とは、ホッと安心したり、ホットな気持ちになったり、みなさまと情報を「クロス」し共有していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回ホットな特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部署のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。

診療科			月	火	水	木	金	
内科	神経	新患	—	—	木下 郁夫	—	濱崎 真二	
		再診	PM 木下 郁夫 濱崎 真二	木下 郁夫	—	—	—	
		再診		—	—	—	—	
	呼吸器	新患	福田 正明	—	橋口／原	—	北崎 健	
		再診	橋口 浩二	橋口 浩二	—	福田 正明 北崎 健 原 敦子	福田 正明	
		再診		—	—		—	
		再診		—	—		—	
		消化器	新患	大畑 一幸	竹下 茂之	—	—	重野 賢也
			再診	川崎 寛子	重野 賢也	楠本浩一郎	竹下 茂之	大畑 一幸
	再診		—	—	荒木 智徳	—	—	
	循環器	新患	—	三浦 幸	雨森健太郎	芦澤 直人	—	
		再診	芦澤 直人	雨森健太郎	芦澤 直人	—	芦澤 直人	
		再診	—	—	三浦 幸	—	雨森健太郎	
	リウマチ・膠原病	新患	岡田／鈴木	—	—	—	—	
		再診	—	鈴木 貴久 川上純 (長大) 要予約	岡田 覚丈	岡田 覚丈	PM 岡田 覚丈	
		再診	—		鈴木 貴久	鈴木 貴久		—
	糖尿病・内分泌	新患	—	—	—	森 芙美	藤田 成裕	
		再診	森 芙美 笹村明香里	笹村明香里	藤田 成裕	(PM) 上田 康雄	森 芙美	
		再診		—	(AM) 藤田 成裕	—		
	血液	新患	—	城 達郎	—	堀尾／田口	—	
		再診	城 達郎	堀尾 謙介	城 達郎	—	堀尾 謙介	
		再診	—	—	田口 潤	—	—	
専門外来 (要予約)			精神科 (長大) 三宅 通／木下 裕久	頭痛外来 PM 木下 郁夫		てんかん 1.3.5 週 PM 馬場 啓至		
外科	外科一般	新・再	—	—	—	AM 橋本慎太郎	—	
	呼吸器	新・再	—	—	谷口 英樹	佐野 功	佐野 功	
	消化器	新・再	中崎 隆行	柴田 良仁	柴田 良仁	中崎 隆行	中崎 隆行	
	乳腺・内分泌	新・再	柴田健一郎	田中彩 (長大)	谷口 英樹	PM 谷口 英樹	—	
		新・再	—	—	柴田健一郎		—	
心臓血管外科		新・再	—	—	松丸一朗 (長大)	—	—	
整形外科		新患	飯岡 隆	黒木 一央	滝田 裕之	橋川 健	杉原 祐介	
		再診	滝田 裕之	橋川 健	飯岡 隆	滝田 裕之	橋川 健	
		再診	—	杉原 祐介	杉原 祐介	—	飯岡 隆	
		再診	—	黒木 一央	黒木 一央	—	黒木 一央	
形成外科		新・再	—	要予約 平野 明喜	—	要予約 平野 明喜	—	
皮膚科		新・再	宿輪 哲生	宿輪 哲生	宿輪 哲生	宿輪 哲生	宿輪 哲生	
		新・再	清原 龍士	清原 龍士	清原 龍士	清原 龍士	清原 龍士	
泌尿器科		新患	浅井 昭宏	山崎 安人	鶴崎 俊文	山崎 安人	鶴崎 俊文	
		新・再	山崎 安人	—	浅井 昭宏	—	—	
		再診	鶴崎 俊文	浅井 昭宏	山崎 安人	鶴崎 俊文	浅井 昭宏	
婦人科		新・再	鮫島 哲郎	鮫島 哲郎	鮫島 哲郎	鮫島 哲郎	鮫島 哲郎	
眼科	新患は水・金 AMの予約のみ (紹介状必要)	新・再	—	脇山はるみ	脇山はるみ	—	脇山はるみ	
		新・再	栗原 潤子	栗原 潤子	栗原 潤子	栗原 潤子	栗原 潤子	
		新・再	米田 愛	米田 愛	米田 愛	米田 愛	米田 愛	
		新・再	黒部 彩那	黒部 彩那	黒部 彩那	黒部 彩那	黒部 彩那	
耳鼻咽喉科		新・再	隈上 秀高	隈上 秀高	隈上 秀高	隈上 秀高	隈上 秀高	
		新・再	池永 まり	池永 まり	池永 まり	池永 まり	池永 まり	
麻酔科	緩和ケア	新・再	—	AM 要予約 後藤 慎一	—	—	—	
放射線治療科		新・再	要予約 林 靖之	要予約 林 靖之	要予約 林 靖之	要予約 林 靖之	要予約 林 靖之	



診療受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時00分～午前11時00分

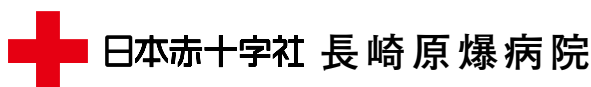
※再来受付機による受付は午前8時00分より行っています。
※禁煙外来をご希望の方は、2階健診センターへご相談下さい。

紹介状をお持ちの方は、病診連携室をとって診療予約をしてください。予約をせずに来院されますと、対応できない場合があります。
また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生しますので、事前に診療予約をお願いします。

診療開始時間 午前8時45分～

休診日 土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)

※学会出張等により、代診または休診する場合がありますのでご了承下さい。
※セカンドオピニオン外来を希望される方は医療相談室へご連絡ください。



〒852-8511 長崎市茂里町3-15

(代表) TEL.095-847-1511 FAX.095-847-8036

(病診連携室) TEL.0120-845-261 FAX.0120-845-262

http://www.nagasaki-med.jrc.or.jp/

長崎原爆病院

検索

